平成２６年度

創立３５年

安積三小　　学校だより

三しょうの丘　　No.４

（承認　賞賛　奨励）

平成２６年　６月５日

安積第三小学校

今日は　みょうに
気持ちが　しずかだ
きのう　あんなに
はしゃいでいたのに
きのうの「わたし」と
きょうの「わたし」
まるで　ちがう人間みたいだ
そういえば　いつかは
ぷりぷり怒ってたし
わあわあ泣いた日も
あったっけ
私の中に
何人の「わたし」が
いるのだろう
あしたは
どんな「わたし」に
会うのだろう
だから　毎日　新しい

「期待する」ことと「逃げ場所をつくる」こと

生徒指導上の問題がおきますと、子どもを個別に指導をしたり、家庭訪問をしたりと指導する機会が多くなってきます。子ども達は、どんなことであれ、はじめは「しまった！」と思っています。ですから私達大人は、その子ども達の思いが「もう二度としない」という思いにつながる指導を考えていく必要があります。そのためには、原因や結果を明らかにするだけではなく、それがその子のよさを壊していることに気づかせる。つまり、自分で自分のよさや可能性を引き出せないでいることに気づかせることが大切になってきます。「悪い」からといって叱るだけでは、自分のこれからとるべき方向が見えてきません。

中学校の校長で亡くなられた方は、こう言っていました。「『ものを壊すということは、単にものが壊れるだけでなく、心が壊れていくことでもある』ことを、私たちは肝に銘じてなくてはならない」と。

私達は、一度過ちをおかすと、簡単に「だめなやつだ」と思ったりすることがあります。そうすることを戒めつつも、子ども達の失敗の原因やそれにつながる遠因を考える。そして、次にそれをどう生かして子ども達の立ち直りにつなげていくかということを、家庭と学校が連絡を取り合い、共に考えていくことが大切であると思うのです。

学級通信より～運動会『みんなの感想』～

「私が今年の運動会で一番心に残ったことは鼓笛です。最後の運動会、最高学年の私達はたくさんの人の前で演奏や演技をしました。毎日、体育や放課後の時間を使って長時間練習をしました。そして、本番ではつらい練習をしてきた成果がでました。私は、本気で集中してリズムをとり、まちがえずにできたと思います。きれいな演奏ができたのでよかったです。」「最後の運動会」「最高学年として…」、６年生にとって運動会に対する思いは、とても強くあついものでした。真剣に演技や係に取り組んだ子ども達。入賞した・しないに関わらず一生懸命に活躍した経験があるからこそ、これからの学習に集中して取り組むことができると思います。

2014 郡山市まちなか子ども夢駅伝大会　男子の部総合優勝！小学生６年男子の部優勝！

８部門合わせて１０３チーム、６１０名が参加して開催された駅伝。影山桂大君、大原　蓮君、古川真跳君、箭内悠雅君、濱田　航君の５人が全力でタスキをつなぎ、２位と１００ｍの差をつけて見事優勝しました。苦しさを乗り越えて自信をつけた子ども達、これからの活躍が楽しみです。